

# 長七郎山スノーシューハイク山行報告

【山行日】2017年1月26日(木) 快晴  
【集合】岩舟支所P AM 6:30  
【費用】マイカー1台 : 1,500円  
【メンバー】CL:鈴木ユ 岩淵、大西、関、津佐  
【コースタイム】岩舟支所 P6:30=赤城公園 BC  
9:00/9:50~鳥居峠 10:10/10:20~小地藏山 11:20~  
長七郎山 11:50/12:20~小沼平 12:50/13:00~  
赤城公園 BC13:45/14:00~あいの山の湯  
14:40/15:00=岩舟支所 P16:30

I 淵さんから「スノーシューを買ったので何処か計画して」と依頼があり、天気予報を見て長七郎山へスノーシューで登る計画をした。予報通り無風快晴

のスノーシュー日和に恵まれ、ルンルン気分で赤城公園ビジターセンターに着く。SさんとTさんにはワカンを用意したが、ビジターセンターで聞くと、スノーシューを貸し出してるので借りることにした。



トイレを済ませ準備をすると、Sさんが借りたスノーシューが右足用同士で交換してもらった。

Tさんが歩き出すと外れてしまい、止め直したりで50分遅れのスタートとなった。

前日まで3日間降雪があり、新雪の覚満淵を自由に歩き、皆子供のようにはしゃいでいた。

ところが鳥居峠への登りになると、トレースが無くなり深雪の歩きに難儀する。

やっと鳥居峠に着きベンチで休憩し、バームクーヘンを食べエネルギーを補給する。

またTさんのスノーシューの具合が悪く、時間を掛けて付け直す。

我々の後から単独行が来て、先に出て行ったが

小沼への道の登り口で悪戦苦闘しており、結局スノーシューを脱いで登っていた。

我々はスノーシューで登り切り、そのまま先行するがトレースが無くなりきつい登りになる。

小沼の手前の谷は雪が深くて降り口が解らず、そこから小地藏岳に直登することにした。

新雪のラッセルは結構きつく、大腿四頭筋が悲鳴を上げる。山頂までもう少しと言う所で、若いTさんに先頭を変わってもらった。鳥居峠から1時間登り、小地藏岳山頂に着く。山頂まで必死に登り、周りの景色が目に入らなかったが霧氷がとても綺麗で感動した。I 淵さんも新しいスノーシューは歩き易く、スノーシューがこんなに楽しいとは思わなかったと上機嫌。小地藏山頂は展望があまりないので、記念写真を撮ったら長七郎山へと向かう。



山頂から長七郎山への道はトレースがあり、鞍部まで楽に下ることが出来た。鞍部まで降りると多くの登山者が歩き、雪がしっかりと踏み固められて楽々歩ける。鞍部から少し登ると、尾根の東に雪庇が張り出し、



皆さん初めて見る光景に歓声上がる。高度が上がるにつれ眺望も良くなり、こんなに素晴らしい山だと思わなかったと感動していた。長七郎山頂はさらに展望が素晴らしく、富士山から八ヶ岳、北アルプスや上信越の山々が真白く輝いて見える。I さんは「スーさん、こんな素晴らしい雪山は何回でも登りたいからまたお願いします」と興奮気味。記念写真を撮ったらランチタイムとする。予定は小沼に下ってから昼食の予定だが、風が無く眺望が良いので山頂で食べることにした。キノコうどんを作り、Sさん手作りの切干大根を食べながらのんびり過ごす。下りは小沼に向かって西側へ下って行く。

トレースはあるが、あまり歩かれてなく時折深みにはまる。小沼に出たら、時計回りに湖畔を歩き小沼平に出る。小沼平から鳥居峠に戻る予定だったが、往路で谷を渡れなかったので道路を歩いて下ることにする。道路は良く除雪されているので、スノーシューを脱いで歩く。薄い雪の下がアイスバーンになっており、気を抜くとスッテンコロリンこけてしまう。道路を45分ほど歩き、無事にビジターセンターへ到着する。スノーシューを返却し、靴を履きかえ帰路につく。途中、あいのやまの湯へ寄り、直売所で野菜や花を買って岩舟支所に向かった。帰りの車中ではスノーシューが楽しかった話で盛り上がり、SさんとTさんはスノーシューを購入することになった。



我輩は疲れたが、皆さんがこれほど喜んでくれるなら、またスノーシューハイクを計画しようと思った。